

# 公安委員会定例会議開催状況

1 開催日時 令和6年3月27日（水）午前9時45分から午前11時38分まで

2 開催場所 公安委員会室

3 出席者

(1) 公安委員会

五十嵐委員長 竹内委員 久保田委員

(2) 警察本部

本部長 警務部長 生活安全部長 地域部長 刑事部長 交通部長 警備部長  
情報通信部長 首席監察官 サイバーセンター長 警察学校長  
犯罪被害者支援室長 監察官 運転管理課聴聞官 公安委員会室長

4 議事の概要

(1) 報告事項

ア 大学生少年サポーター委嘱式の開催について

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「サポーターと警察本部との間で情報交換する場はあるのか。」と質問があり、警察本部から「子供・女性安全対策課が主体となり情報共有を行っている。」と回答があった。

また、委員から「この制度は非常に良いと思っている。少年事件で保護観察処分が出た場合、保護司に対応してもらうことがあるが、保護司には高齢の方が多いため少年との世代間ギャップがあり、コミュニケーションをとりにくい面がある。そのため、同世代の大学生が少年に寄り添う方が立ち直り支援には効果的だと思う。」と意見があった。

イ 令和6年「痴漢撲滅キャンペーン」について

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「片手の動きでSOSを求めることができるヘルプミーハンドサインは非常に有効だと思うので、普及に努めていただきたい。」と意見があった。

ウ 110番通報受理状況について（令和6年2月末）

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「110番通報受理件数は増加傾向であり、不急通報がもっと減れば受理担当者の負担も減ると思うが、何か取組を行っているか。」と質問があり、警察本部から「各種イベント等の機会を通じて不急通報の減少に向けた呼びかけを実施している。」と回答があった。

エ 刑法犯の認知・検挙状況について（令和6年2月末）

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「特殊詐欺の検挙率が前年に比べ増加していることは素晴らしいと思う。」と意見があった。

また、委員から「重要窃盗犯の認知件数は前年に比べ大幅に増加しているので、様々な対策を講じていると思うが、引き続き実施していただきたい。」と意見があった。

オ 春の全国交通安全運動の実施について

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「雨天時の夜間など歩行者に気付きにくい環境では一層注意して車を運転してもらう必要があるので、広報啓発活動をお願いしたい。」と意見があった。

また、委員から「横断歩道前に歩行者がいる場合、停止する車が増えたように感じるが、これは警察の広報啓発活動によるところも大きいと思うので、引き続き取組をお願いしたい。」と意見があった。

カ 太田市安養寺町地内における重傷ひき逃げ事件の発生・検挙について

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「事案の性質もさることながら、被疑者は犯行を一部否認しているとのことなので、とても悪質だと思う。」と意見があった。

また、委員から「客観的な証拠に基づき立件していただきたい。」と意見があった。

(2) 決裁事項

ア 公益社団法人被害者支援センターすてっぷぐんま令和6年度事業計画書及び同収支予算書の提出について

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

イ 公益社団法人被害者支援センターすてっぷぐんま就業規程等の一部改正の報告について

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

ウ 令和6年度監察実施計画

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

エ 行政処分の意見聴取結果について

警察本部から、当日実施した運転免許行政処分対象事案11件の意見聴取結果及び5件の聴聞結果について説明があり、決裁した。